

韓国にはなぜキムさんが多い？

キムシンヒョン
太宰府市国際交流員 金辛泫

数多くの苗字がある日本とは違って、韓国人はほとんどが同じ苗字を持っているように思えます。実際に韓国の苗字は全部で約250種類、김(キム)・이(イ)・박(パク)・최(チェ)・정(ジョン)、この5つの苗字が全体の55%を占め、特にキムはおよそ21%で韓国人の5人に1人がキムさんということになります。なんとこのコラムの作成者もキムという事実！それではなぜ韓国にこんなにキムさんが多いでしょう。その理由には2つの説があります。

1つ目は身分制の影響です。昔、苗字を持てるのは貴族である「ヤンバン」だけでした。朝鮮時代の貴族名簿を見ると、先ほど紹介した現代の韓国で全体の55%を占める5つの苗字が多く見られ、中でもキムが最も多くありました。当時、苗字がなかった奴婢である「ノビ」が、のちに偉い貴族の苗字を使ったため、特定の苗字が多いという説です。

2つ目は安定した韓国の歴史によるものです。韓国は一つ一つの王朝の統治期間が長いのが特徴です。統一新羅が約1千年、高麗時代が約500年、最後に朝鮮時代が約500年続きました。王朝が交代する過程でも、前王朝の王族が吸収された場合が多く、その苗字が残ることができました。そして、内戦や侵略があった歴史も少なく、安定した平和な歴史によって特定の苗字が大きく減ることなく続き、その数が増えたという説です。

今回は韓国にはなぜキムさんが多いのかをお話ししましたが、いかがでしたか。次回はキムさんシリーズの一環で「同じキムに見えても実は違う！」というテーマでお話ししたいと思います。

人権標語

思いやり

思うだけでは変わらない
行動してこそその思いやり

太宰府東中3年
(応募時)

わきやま けいた
脇山 恵太さん

季節の生け花

太宰府市華道連盟



しのはら しずこ
篠原 静子
(国分区) 池坊

花材 松、梅古木、若松、山しだ 他

つれづれ

太宰府短歌会

はふはふと秋思の風に綿毛のり
何処に転びて春を待つらむ
五条 山田乃ぞみ

若き日の胸に飾りしブローチに
似し花咲けりその名ランタナ
湯の谷 山崎八重子

目の老いて見えねばやぶ蚊に血を吸はせ
はつと打ちとる秋のベンチに
春日市 山本 憲一

そこまでも歩くことなく飛んで行く
小さきは器用に羽根たたみおり
筑紫野市 渡辺 保子

在りし日の友の歌声昨日の如し
望郷十年テープに遺れり
青山 亀淵 咲子

太宰府俳句会

学ぶとは心のおしやれ初句会
星ヶ丘 柴田慧美子

仮殿に託す希望や初詣
馬場 有岡 和砂

生かさざる日々感謝の去年今年
東観世 中島 祝乃

心地よき稚のペースの三ヶ日
国分 松尾 満子

年明けて動き始まるチャレンジャー
五条 兼田和加子

飛梅句会

茶の花や穩やかであれどの国も
朝倉市 味酒フジ子

茶の花や控へ目なれど目立ちをり
青葉台 本山 晴子

浅漬の重石利かせし里の味
星ヶ丘 江里口幸生

浅漬や事なき日々の暮しあり
大佐野台 金丸 恵子

茶の花や本家分家と垣隔て
高雄台 川路 泰子

宝満句会

朝を掃く風の名残の枯葉かな
観世音寺 野田 杉子

蒼天の日暮れを惜しむ帰り花
青葉台 平野 香

風に耐へ残る枯葉のあはれかな
高雄台 荒島由美子

太宰府の鬼門の宮の帰り花
筑紫野市 名本 剛

山の日の吐息のごとき帰り花
長浦台 徳賀美智子

都久志てんじん句会

石庭の波やはらかや後の月
青葉台 彦坂 正字

迷う間に席はなくなり冬蝗
小都市 真金 志帆

お母さんと呼んでみたき秋の夜
福岡市 北川朴洋子

産土を見守りたまへ後の月
福岡市 塩飽たか子

御仏飯さげていたたく秋ふかし
筑紫野市 寺田 恵子

太宰府川柳倶楽部

カルテ見て画面だけみてハイ葉
福岡市 迎 あゆ子

女関に靴音集うお祝日
福岡市 王丸 真知子

散らかった部屋でも僕のユートピア
大野城市 野田 茂生

参道を平泳ぎ行く人の波
筑紫野市 坂本 やよ子

数知れぬ命頂く日々の膳
水城ヶ丘 植村 克志